

2015年1月  
No.15-001a(全)

## 検体検査実施料新規収載のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、2014年12月18日付及び12月26日付の厚生労働省保険局医療課長通知「保医発1218第2号」及び「保医発1226第1号」にて、下記の検査項目に検査実施料の新設等が通知されました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■条件等が追加された項目

検査項目	実施料
エリスロポエチン	213点

※詳細は裏面をご参照下さい。

#### ■適用日

2014年12月18日より適用

#### ■新規収載項目

検査項目	実施料
Mac-2 結合蛋白(M2BP)糖鎖修飾異性体	200点
CD30	400点

※詳細は裏面をご参照下さい。

#### ■適用日

2015年1月1日より適用

以上

## ■詳細内容

### ●条件文章が追加された項目 下線部追加

検査項目	実施料	判断料	診療報酬区分	備考
エリスロポエチン	213 点	144 点 生化学的検査 〔Ⅱ〕判断料	「D008」内分泌学的検査の 34	「34」のエリスロポエチンは、以下のいずれかの目的で行った場合に算定する。 ア. 赤血球增加症の鑑別診断 イ. 重度の慢性腎不全患者又はエリスロポエチン若しくはダルベポエチン投与前の透析患者における腎性貧血の診断 ウ. 骨髄異形成症候群に伴う貧血の治療方針の決定

### ●新規収載項目

検査項目	実施料	判断料	診療報酬区分	備考
Mac-2 結合蛋白 (M2BP) 糖鎖修飾異性体	200 点	-	「D215-2」 肝硬度測定	ア. Mac-2 結合蛋白(M2BP)糖鎖修飾異性体は、区分番号「D215-2」肝硬度測定の所定点数に準じて算定する。 イ. 本検査は、2ステップサンドイッチ法を用いた化学発光酵素免疫測定法により、慢性肝炎又は肝硬変の患者(疑われる患者を含む。)に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定する。 ウ. 本検査と区分番号「D007」血液化学検査「38」のプロコラーゲン-III-ペプチド(P-III-P)若しくはIV型コラーゲン、同区分「40」のIV型コラーゲン・7S、同区分「43」のヒアルロン酸又は同区分「51」のプロリルヒドロキシラーゼ(PH)を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
CD30	400 点	150 点 病理判断料	「N002」免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製の 6	ア. CD30 は、区分番号「N002」免疫染色(免疫抗体法)病理組織標本作製「6」その他(1臓器につき)の所定点数に準じて算定する。 イ. 本標本作製は、HQ リンカーを用いた免疫組織化学染色法により、悪性リンパ腫の診断補助を目的に実施した場合に算定する。